

切な教材が提示される。

- (4) 回答結果は個人別に印字記録されるほか、授業終了後に採点、平均点、ランク付けなど、処理結果がプリントアウトされる。

本システムの特長としては、① 学生の回答結果は即座に集計され、これを自動的に判定し、プログラムの飛び越し、前戻りができる。② LLによって語学練習を行なったあと、直ちにティーチングマシンに切換えて問題を提示し、回答結果をコンピュータにより自動的に集計作表して、成績を評価することができる。③ コンピュータ処理により、学習成績の分析、学習プログラムの評価の分析など CMI (Computer Managed Instruction) 的な使用ができる。④ 解説、問題提示から選択押しボタンによる回答とその結果の即時把握(はあく)という一連の学習時間中、終始緊張した学習活動がつづき、短時間に密度の高い、効率のよい教育ができる。⑤ 理解の常時チェック授業後の即時成績集計など教師は一連のプログラム反省資料が得られるので、常に適切なカリキュラムの編成が可能となる。⑥ 学

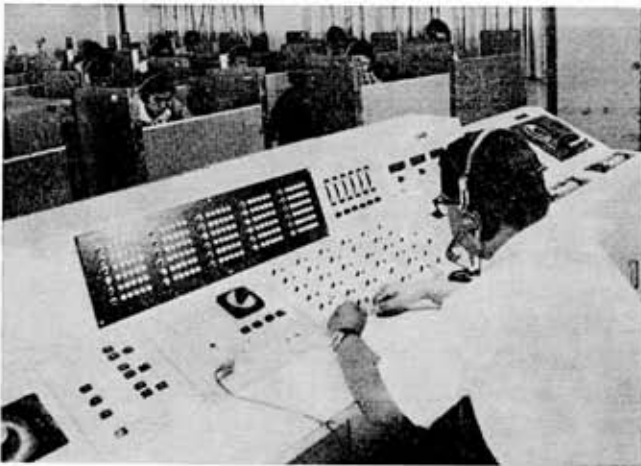


図3 集団用トータル教育システム HITACHI CLI System 70

習の進行過程で学習者の正誤答または未完成回答を即時提示し、全員の相互研修により、全体的教育効率の向上ができる。⑦ 3チャンネルでの個別の教材を自由に選択でき、スライドおよびVTRで教材を表示して、映像と音とによって語学の完全学習が可能である。

なお、日立京浜工業専門学校では、本システムを計算機言語(フォートラン、コボル)、二進法数学、論理数学、基礎工学、語学などの教育用として利用している。

日立製作所では本システム開発により、今後、企業内教育などの引き合いにはじゅうぶん応ずることができる。

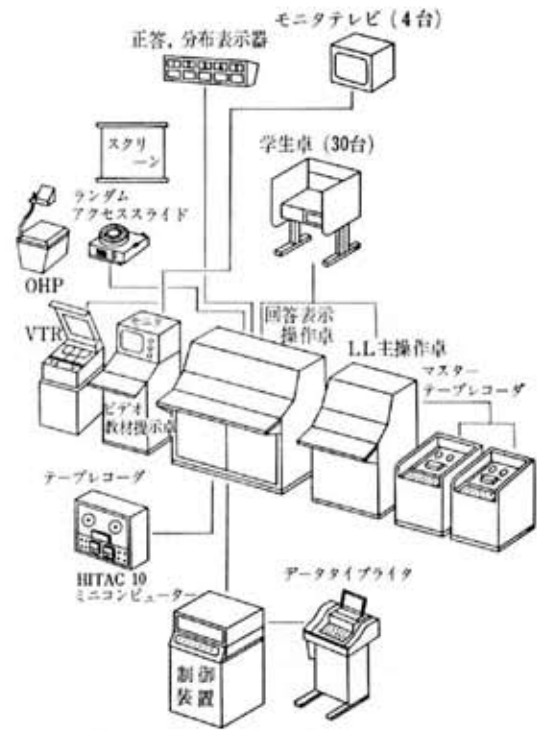


図4 構成図

■ 日産ローレル・セダン・シリーズに
オートチューニングラジオ付き
カーステレオライン装着

このほど発表された日産自動車の新車ローレル・セダン・シリーズには、日立製作所のAMオートチューニングラジオ付きのカーステレオがライン装着されている。

オートチューニングとは自動選局のことで、選局操作がブッシュボタンを押すだけで自動的にこなわれ、受信された電波が正しく同調されていることを検出して自動停止するものである。

とくに最近では高速道路がつぎつぎに完成して、高速走行が多くなり、走行範囲も広がってきている。これに伴い電波のサービスエリアがちがう地域を通過するたびにいちいち手動で選局を行っていたのでは安全走行に危険もある。

オートチューニング機構は、選局を行なうミュー同調チューナに超小形直流モータが組み込まれており、自動選局ボタンを押すと、



図5 日立オートチューニングラジオ付き
カーステレオ TCS-2000G

このモータにスイッチがはいるり、その位置にいちばん近い周波数の高い局に近づき、電波の適正周波数の場所で正確に同調する。

同調終了はトリガー回路によって検出され、モータの回転が停止

し、モータ回路が自動的に切れる。

局を切り換える場合は再び自動選局ボタンを押し、その局より周波数の高い局に同調する。1,605 Hz まで行くとこの動作が逆になり、周波数の低い局に同調する。

おもな特長は、① 高出力トランジスタ採用により、豊かで澄んだ HiFi 音の演奏が楽しめる。② ラジオ電源スイッチの ON, OFF に関係なく、カートリッジをそう入するとカーステレオとなり、また、ラジオとして動作しているときにカートリッジをそう入すると

カーステレオに切り換わる。さらにカートリッジを抜き取ると再びカーラジオとして動作するラジオ、ステレオの自動切り換えになっている。③ 別売りの日立 FM チューナパック (KP-1100N) をカートリッジ同様にそう入すると、FM ステレオ放送が聞ける。④ 音質調節つまみの操作により、好みの音質が楽しめる。⑤ チャンネル指示機構は演奏しているチャンネル番号を明るく照らし出すデジタル方式で見やすくなっている。

■ 日立ド・ルックスシリーズ 新発売 —リビングルームのためのアンサンブル照明—

日立製作所は白熱灯器具による本格的洋風照明として日立ド・ルックスシリーズ (42機種6シリーズ) を9月から発売した。

最近の住宅様式は洋風化の傾向が高まりつつあり、これに伴うムード照明化、一室多灯化が促進されて白熱灯の需要が大きく伸びてきている。

日立製作所としてもこの洋風照明の需要に対処すべく過去2年間白熱灯化を進めてきたが、このほど一連のオリジナル製品を完成したので、「日立ド・ルックスシリーズ」として発売した。このド・ルックスシリーズは洋間を演出する照明システムで、シャンデリアから卓上スタンドまでのデザイン、カラーを一つのイメージのもとに調和させて家具、じゅうたん、カーテンなどとともにインテリアの一部を構成するものである。これにより昭和42年以来販売を続けている和風照明「リングライト伝統美シリーズ」とあわせて、和、洋両照明が充実した。

おもな特長は、① 洋風の使い分けができる製品構成：最近の洋間は8～12畳とかなり広めのスペースをとり、居間、客間（応接間）、食堂などの目的を一部屋（へや）で済ませるケースが多くなっている。したがって目的に応じて照明を使い分けが必要になっているが、ド・ルックスシリーズは次の5種類の「あかり」を構成しており、これらを組み合わせ点灯することによってその目的に最もふさわしいふん囲気をつくることができる。(1) シャンデリア (3灯, 4灯) (2) ペンダント (装飾用, 食卓用) (3) ブラケット (1灯, 2灯) (4) フロアスタンド (5) 卓上スタンド

② 選びやすい六つのグループ：家を新築する人々の頭悩の種はインテリアデザインである。特にリビングルームのじゅうたん、カーテン、家具などはブームになりつつあるが、仕上げのキーポイントは照明による「光の演出」である。ド・ルックスシリーズは六つのグループがあり、この中から部屋のふん囲気、スペースに合わせて最もふさわしいグループを選べばインテリアはスッキリと仕上げられる。

③ デザインはファミリア (家族向き) タイプ：洋間一室の照明となると家族全員の意見がでてくるが、ド・ルックスシリーズは趣味や好みを幅広く満足させるように親しみやすいファミリアデザインにした。

④ 手ごろな価格：従来、白熱灯器具は高価なものというイメージがあったが、ド・ルックスシリーズは量産化により大幅にコストダウンできた。経済的な理由からけい光灯で間に合わせていた洋間の照明を気軽に白熱灯と置きかえられる価格である。価格の点ではスペシャル (高級品) ではなくスタンダードであるが、デザイン、カラー、材質に関してはじゅうぶん吟味している。

⑤ 機能性に富む製品：シャンデリア、ペンダント (食卓用) は全機種つり下げ、高さ調節装置付で天井の高さに関係なく自由に取付けができる。また工事を伴う製品は連結コネクタを始め省力化機構を各部分に取り入れ器具の取付工事を簡単にした。

なおセード、グローブなどは全機種本体から簡単に取りはずしできる構造とし、保守、清掃なども容易になっている。

(注) 「ド・ルックス」とは「De Luxe」をフランス語で発音したものである。



図6 日立白熱灯 ド・ルックスシリーズ ド・ルックス 21

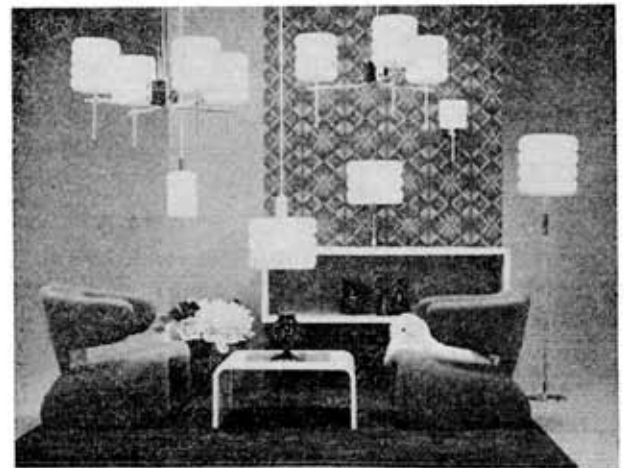


図7 日立白熱灯 ド・ルックスシリーズ ド・ルックス 22